

国際地域福祉シンポジウム ―日本地域福祉学会 30 周年記念事業―

グローバル化の中の地域福祉実践―貧困・格差と排除・孤立を超えて

グローバル化とローカル化の同時進行のなかで、現代の福祉問題の多くは、その解決の「場」を地域コミュニティに求めています。日本の地域社会を例にとると、以前の「貧困や生活の不安定化」や「心身のストレス」として表出した問題群に加え、ホームレスの増加、精神障害者等の生活問題、滞日外国人家族の地域摩擦、高齢者の孤独死や自殺、青少年を巻き込んだ犯罪の増加といった新たな福祉問題群が顕在化しております。それらの問題群は、いまや世界の国々や地域社会の至るところに拡大しております。そうした状況のもとで、現代社会の福祉問題の自主的な解決の場としての地域社会（ローカリズム）が新たな意味を持つようになってまいりました。安全で安心して住み続けることのできる地域コミュニティを行政・企業・NPO・住民等の参加によって協働して創りだしていくことが求められています。

本シンポジウムでは、日本・米国・韓国3カ国の地域コミュニティにおいて「貧困・格差」や「排除・孤立」の状況に置かれている生活困窮状態にある人々への生活自立支援や地域包括ケアの地域福祉実践に焦点をあてて、その仕組みづくりと地域住民の生活問題やニーズに対応するソーシャルワーク実践のあり様を共有化したいと思います。なお、今回の国際地域福祉シンポジウムは、日本地域福祉学会 30 周年記念事業として全国社会福祉協議会地域福祉推進委員会の協力のもとで開催されます。この経験を通して、さらに日本・米国・韓国の地域福祉実践の発展に寄与したいと考えております。

○日時：2016年6月10日（金）13:00-17:00

○会場：全国社会福祉協議会 灘尾ホール 〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2

○参加費：3000円

☆ プログラム ☆

■ 記念講演 宮本みち子氏（放送大学 副学長）

■ シンポジウム

報告者(米国)：Mary. L. Ohmer 氏（ピッツバーグ大学准教授）

報告者(韓国)：崔鮮熙氏（聖書大学教授）

報告者(日本)：野口定久氏（日本福祉大学）

指定討論者：室田信一氏（首都大学東京）、金成垣氏（東京経済大学）

総括討論者：牧里每治氏（関西学院大学）、渋谷篤男氏（全国社会福祉協議会）

総司会&コーディネーター：原田正樹氏（日本福祉大学）、佐甲学氏（全国社会福祉協議会）

【申し込み方法】

日本地域福祉学会会員は、日本地域福祉学会第30回記念大会ホームページの参加申込サイトからお手続きください。

主催：日本地域福祉学会 共催(予定)：全国社会福祉協議会 地域福祉推進委員会